

# 特集

## 「試験」からみた 心理学

心理学の社会的役割の大きさは、心理学の専門的な訓練を受けた人が社会的に活躍することによってもわかりますが、社会のさまざまな場所や職業において心理学の知識や技術が求められることによっても示されます。そうした社会的な要請のひとつの現れとして「試験」があり、心理学の試験問題を解かないと得点できない入試や、取得できない資格、就職できない職種がいくつも存在します。この特集では、心理学の問題が出題されるいくつかの試験をとりあげて、そこでどのような心理学知識が問われているのかを知るとともに、試験問題を通じて社会における心理学の意義や位置づけについて考えたいと思います。それに加えて、そうした試験を実際に突破して社会で活躍されている方々から、試験の体験談や対策法を伺いました。それらを通じて見えてくる心理学の姿はいったいどのようなものなのでしょうか。

(渡邊芳之)